

一般質問（要旨）

「市政のここを問う」

今定例会では、15名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は2月中旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、これまで掲載されていた一般質問通告一覧については、福生市ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

平成30年度予算編成の重要施策について

正和会
清水 義朋 議員



質問 日本経済は緩やかに回復し、本市では人口減少、少子高齢化対策が効果を発揮しつつあるが、平成30年度予算編成における重要施策は何か。教育委員会の重要施策も伺う。

市長 新扶桑会館整備事業のほか中心市街地活性化推進事業、第5期福生市総合計画策定事務、福生第三小学校増築事業、子育て世代包括支援センター事業等を実施予定である。

教育長 施設整備や学校ICT、英語教育、コミュニティ・スクールの推進、特別支援教育の充実、子育て世代包括支援センターと教育相談室の連携強化、生涯学習環境の充実と活用、読書環境の充実等を実施。

再編交付金に代わる財源確保について

質問 市長の努力で環境整備法第8条に基づく民生安定施設助成事業

の追加交付を得られたが、同法第9条に基づく特定防衛施設周辺整備調整交付金（9条調整交付金）についてはどのような状況か伺う。

市長 今年11月に9条調整交付金の二次交付が決定し、交付額は一次交付との合計で前年度比1億1,001万5千円の大幅増となった。今後も議員各位の支援を得つつ、市民の生活環境向上に向け全力で取り組む。



▲現在の福生市総合計画（冊子）

道路整備計画の策定について

正和会
町田 成司 議員



質問 福生第三小学校北側の急坂を下ったところにある交差点の危険な場所について取り組みを開始しているとのことだが、現況を伺う。

都市建設部長 同交差点の改善のため、小学校の敷地の一部活用も視野に入れ、現在、隣接する民地の買収に向けて地権者との接触を開始している。学校敷地の一部活用については事務レベルでは基本的に了解を

得たが、詳細な設計段階で改めて教育委員会との協議を見込んでいる。

質問 生活道路は歩車道の分離が理想であり、一方通行化することで、現道路幅のまま歩道の幅員が確保でき、低コストで歩行者優先の道路整備ができる。銀座通り周辺のような一方通行化の手法を南・北田園や特に狭い熊川地区、福東地区等で取り入れるべきと考えるが、見解を問う。

都市建設部長 一方通行化の取り組みには賛成であり、部内でもたびたび議論している。福生警察署の担当部署に相談したところ、地域状況の把握や住民の了解が必要最低限の条件であり、手続きには多くの時間がかかるが、本市では大変有効ではないかとの意見も得た。今後、道路整備計画にソフト面の取り組みとして記載できるよう、検討を深めたい。



▲第三小学校北側の急坂下付近の様子

駅周辺道路への腰掛けの設置について

正和会
乙津 豊彦 議員



質問 運転免許証を返納した高齢者から、家から駅まで歩く途中で休みたいくなくても、駅周辺の道路で休む場所がないという苦情が寄せられた。駅から徒歩20分圏程度の道路に腰掛けを設置できないか。

市長 国土交通省の道路の移動円滑化ガイドラインで休憩施設の設置が規定されており、必要性は認識しているが、本市では設置可能な市道

に限られ、設置例は少ない。いわゆる交通バリアフリー法の趣旨や交通需要を勘案すれば必要な施設であり、道路整備時の検討項目とし、今後策定する道路整備計画に掲載したい。

五日市街道砂川街道踏切への信号機の設置について

質問 軌道敷が米軍用地であり、市長には大変苦勞をかけていると聞いている。現状と、今後のスケジュ

ール並びに完成時期の見通しを問う。

市長 関係各機関と協議の結果、平成28年6月に米軍側から同意文書の交付を受け、JR貨物へ概略設計を依頼。国や在日米軍の協議から日米合同委員会を経て、今年10月20日に提供国有財産一時使用許可が通知された。現在は、JR貨物、警視庁と協定締結へ調整中。平成30年3月末竣工に向け順調に推移している。



▲富士見公園東側の歩道上に設置されているベンチ

保育園職員の処遇改善等について

市民派クラブ
田村 正秋 議員



質問 保育・幼児教育については無償化の問題もさることながら、待機児童解消の受け皿の拡大、現場の担い手確保と働き方の問題もある。「子育てするならふっさ」のスローガンのもと、処遇改善等の現状と課題、今後の取り組みについて伺う。

市長 公定価格への処遇改善加算や都の保育士等キャリアアップ補助に加え、本市独自に保育士等の常勤

正規職員へ加算給付している。国は、毎年度制度を改善しており、保育園への情報提供と処遇改善支援の速やかな実施が課題である。国・都の制度、財源を活用し、支援を継続する。

学校の防災教育における避難訓練の改善について

質問 地震発生時に教室にいるとも限らない。災害も多様であり、最近ではJアラートの発令もある。想定

外の状況にも対応できるよう、避難訓練の改善をどう図るのか伺う。

教育長 生活指導主任会で各校の訓練の成果と課題を共有、反映させるよう指導。また消防・警察職員の指導・助言や、保護者、地域住民の意見も取り入れるよう努めている。都内の安全教育推進校の実践事例等を参考に、引き続き、市内全校の避難訓練の改善について指導していく。



▲保育園夏祭りの様子（福生市HP「子育てするならふっさ」動画サイトより）